

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	TB	計
村野工業	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	2 (0)
矢掛	0	0	0	0	0	0	0	2	0	1×	2 (1×)

矢 花岡 一 小池

文責：守屋 綾乃（普通科総合コース2年）

矢掛高校の先発は、2年生右腕の花岡（木之子中）

- 1回表、村野工業高校の攻撃。花岡（木之子中）が安定した立ち上がりを見せ、三者凡退に抑える。
- 1回裏、矢掛高校の攻撃。先頭の赤木（小北中）が四球により出塁するも盗塁死。続く大山（小北中）も四球を選ぶが、後続が詰まった飛球に倒れる。
- 2回表、村野工業高校の攻撃。二死から内野安打を放たれるが、後続を抑える。
- 2回裏、矢掛高校の攻撃。一死から森上（総社西中）が中前打を放ち、続く中村（矢掛中）の犠打で二塁まで進めるも、チャンスをものにすることができない。
- 3回表、村野工業高校の攻撃。二死から中前打を放たれるも、捕手：小池の好送球で盗塁を刺す。
- 3回裏 矢掛高校の攻撃。一死から、赤木が四球により出塁。続く大山が内野安打を放ち、チャンスを作る。ここで小川（真備中）の捕邪飛で三塁を狙った赤木は送球が逸れる間に本塁を狙うがタッチアウト。
- 4回裏、矢掛高校の攻撃。二死から森上が内野安打で出塁し、さらに、暴投の間に二塁まで進む。続く中村も四球で走者をためるが、先制ならず。
- 5回表、村野工業高校の攻撃。一死から中越二塁打を放たれ、さらに犠打も決められるも最後は中飛で無失点。
- 5回裏、矢掛高校の攻撃。先頭打者の小池（総社西中）が失策により出塁し、さらに盗塁も決める。二死から小川（真備中）が四球により出塁するも後続が打ち取られ無得点。
- 6回表、村野工業高校の攻撃。一死から連続四球でピンチを作り、失策の間に1点を失う。続くピンチはなんとか抑え、最少失点でこの回を終える。
- 7回裏、矢掛高校の攻撃。一死から小池の四球と失策により出塁した赤木が塁上へ。ここで小池が痛恨の牽制死。しかし、続く大山は右前打を放ち、二死一・二塁とするが、あと一本が出ず、同点ならず。
- 8回表、村野工業高校の攻撃。先頭打者に中越二塁打を放たれ、暴投で三塁まで進まれる。次打者を歩かせ、一・三塁とされ、挟殺の送球が悪送球となり、追加点を奪われる。一死から盗塁を決められ二・三塁とされるが、三塁走者を挟殺で二死とし、さらなる追加点は許さない。
- 8回裏、矢掛高校の攻撃。先頭打者の代打：三澤（真備東中）が四球により出塁し、続く佐藤孝太（木之子中）の内野安打で一・二塁とする。一死から重盗を決め、二・三塁と同点のチャンスを作る。ここで、送球が逸れる間に二者生還し、同点とする。
- 9回裏、矢掛高校の攻撃。二死から大山が左前打を放つも牽制死となり、試合は引き分けに終わる。
- TB表、村野工業高校の攻撃。同点のためタイブレークへ。無死一二塁から小池の好守備により一死一二塁になり、花岡の悪送球により一死二・三塁となる。続く打者に四球を与えてしまい満塁となるも二者連続飛球に抑えピンチを切り抜けた。
- TB裏、無死一・二塁から小川のバントヒットにより満塁となり続く三澤が中前打を放ち1点を挙げサヨナラとなる。

矢掛高校は2-2と村野工業高校に引き分けた。今日の試合では、失策が直接失点に結び付き、勝負弱さを感じた。日頃から緊張感を持った守備練習を行っていききたい。打撃面では、安打は出るものの、牽制死やフライアウトなどちぐはぐな攻撃に終始し、相手のミスによる得点しかあげられず、依然として課題が克服されている印象

は受けなかった。今回の試合で満足いく結果が得られなかった選手の奮起を期待したい。これからの日々の練習では、打撃面の強化とメンタルコントロールが緊急の課題であると感じた。

## 今シーズンの勝敗

24 勝 7 敗 4 分